

## 「聞きたい！知りたい！言いたい！研究機関の本音」開催案内

### 開催趣旨

新ガイドライン施行から3年半が経過し、各機関での体制整備も進んできている。一方で、政府省庁、研究費助成機関（JSPS、JST、AMED）、APRINの取り組みが各機関においてどのように評価されているのか、どのようになったら嬉しいか。そして隣の機関ではどう上手くやっているのか。研究者と外部関係団体との狭間で悩み、苦勞と苦惱を募らせる日々の事務方担当者にざっくばらんな座談会の機会を設ける。

### 概要

■トピック1：「各研究機関において行った研究倫理・研究公正の取り組み ～成功例と失敗例の紹介～」

ガイドラインでは各研究機関が主体となって研究者倫理の教育等の整備を進めることが求められています。各研究機関独自のよい取り組みがあれば、それをロールモデルとして共有し、今後の実践に活かします。また、やってみたがうまくいかなかったという例があれば改善策の検討も行いつつ、今後の実践に活かします。

■トピック2：「研究倫理・研究公正担当者からの問題提起」

（トピック1と関連して）実際に研究倫理・研究公正の取り組みを進めてきて感じる、研究環境を取り巻く現行の体制（政府省庁、研究費助成機関等との関係を含む）への不満や改善案は何かを探り、匿名のご意見として収集します。